

査読付き雑誌への投稿者向けセミナーの実施について



査読付き学術雑誌の 掲載を勝ち取る

加登豊 同志社大学大学院ビジネス研究科教授 神戸大学名誉教
松尾貴巳 神戸大学大学院経営学研究科教授
安酸建二 近畿大学経営学部教授
岡田幸彦 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
船越多枝 大阪経済大学経営学部准教授
喜田昌樹 滋賀大学経済学部 教授

2024年4月20日（土）開催の神戸大学管理会計研究会のプログラムの一つとして、「査読付き学術雑誌の掲載を勝ち取る」というテーマで、査読付き学術雑誌への投稿に関するセミナーを実施することになりました。主な対象者は、神戸大学管理会計研究会のメンバー、および、神戸大学 MBA 在籍者・修了者ですが、その他の方で参加を希望される方は、下記の QR コードにアクセスし、Google Forms の申込書に必要事項を記入してください。研究会が参加を認めた方々には、改めて招待状をお送りします。なお、これらの方々は、原則として当日開催の研究会研究報告への参加はできないことをご了承ください。参加は対面、あるいは、リモートとなります。

（申し込み QR コード）



日時：2024年4月20日（土）15:00-17:30（セミナー終了後、懇親会開催を予定しています。参加にあたっては、実費をご負担ください）

開催場所：神戸大学経営学部本館 208 教室

対象者：神戸大学管理会計研究会メンバー、神戸大学 MBA 在籍者・修了者、および、研究会が参加を認めた者（参加を希望される方は、加登豊（yutaka_kato@nucba.ac.jp）まで参加可能かどうかの問い合わせをお願いします）

講師：加登豊・松尾貴巳・安酸建二・岡田幸彦・船越多枝・喜田昌樹

セミナー参加料：無料

（参加者には、70 ページを超えるスライド資料が配布されます）

（開催趣旨）

研究者を目指す大学院生（OD を含む）査読付き論文を数多く持つことが、就職には不可欠です。また若手・中堅の研究者も、昇格や移籍だけでなく科学研究費補助金を含む競争的研究資金の獲得のために、自身の研究論を査読付き学術雑誌に掲載することが必要です。また、MBA 取得を目指している社会人大学院生や修了生の皆さんも、自らが取り組んだ研究成果を学術論文として完成させることに関心を有しておられると思います。

このセミナーでは、みなさんの論文を広く多くの方々目に触れる形で公表することの意義、公表の手順、査読制度に対する理解、査読コメントへの対応法などについて平易に説明します。奮ってご参加ください。講師はいずれも、数多くの投稿と論文掲載経験を有するほか、国内外の研究雑誌の編集委員長・委員や査読者として活躍しているの方々です。セミナーの概要は以下に示すとおりです。

セミナーの概要

- ・セミナー開催目的
- ・論文公表（掲載）のメリット
- ・査読制度（レフリー制）とは何か
- ・査読制度の歴史
- ・査読プロセスを理解する（投稿→査読レポート受取→レポート対応と論文修正→再度投稿→受理・不受理が決定するまでこのプロセスが繰り返される）
- ・「査読ゲーム」のプレイヤーたち：投稿者、査読者（レフリー）、雑誌編集委員
- ・投稿前の準備と心構え
- ・投稿先雑誌の決定と決定にあたって考慮すること
- ・査読コメントへの対応方法
- ・（特に）社会人大学院生（修了生）へのアドバイス
 - ・投稿ルールに精通する
 - ・デスクリジェクト（即時不受理を回避する）
 - ・MBA 論文と研究論文の異同を正しく理解する

・投稿先雑誌の特徴を理解する（管理会計領域の 5 雑誌）

- ・『原価計算研究』
- ・『経営会計レビュー』
- ・『メルコ管理会計研究』
- ・『管理会計学』
- ・『会計プロGRESS』
- ・『会計プロGRESS』

・質疑応答

お問い合わせおよび申し込みは、加登豊（yutaka_kato@nucba.ac.jp）までお願いします。

なお、本セミナーは、「管理会計研究における査読制度の高度化を図る諸方策に関する総合的研究」（研究代表者：加登豊、一般財団法人牧誠財団 2023 年度第一次研究助成 A (I)）の一環として実施するものである。